

平成30年度明るい選挙啓発 ポスターコンクール優秀賞作品



海老名市立柏ケ谷小学校1年
柴田 彩実



秦野市立鶴巻小学校3年
山田 夏実



相模原市立橋本小学校5年
山崎 巧真



藤沢市立鶴沼小学校5年
久保田 千遥



伊勢原市立大田小学校5年
富樫 優斗



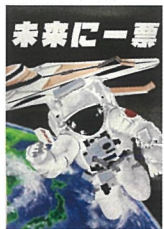
相模原市立麻溝小学校6年
廣瀬 里恋



秦野市立鶴巻小学校6年
成田 せりあ



伊勢原市立伊勢原小学校6年
石垣 檀



伊勢原市立大田小学校6年
鈴木 康介



川崎市立高津中学校1年
藤井 祐人



茅ヶ崎市立鶴が台中学校1年
中村 友



厚木市立森の里中学校1年
田勢 和真



自修館中等教育学校1年
古津 清正



藤沢市立鶴沼中学校2年
斎藤 結子



三浦市立初声中学校3年
菊池 壮哉



伊勢原市立伊勢原中学校3年
瀬尾 昂



神奈川県立神奈川工業高等学校2年
伊藤 幸乃



神奈川県立神奈川工業高等学校2年
奥山 澄香



神奈川県立白山高等学校2年
岩本 桃佳



川崎市立川崎総合科学高等学校2年
小野 温子



神奈川県立深沢高等学校2年
青田 幸歩



川崎市立中央支援学校高等部分教室3年
市原 浩樹



東海大学付属相模高等学校3年
村山 凧沙

神奈川県選挙管理委員会

あらまし

「明るい選挙啓発ポスターコンクール」は、明るい選挙を推進するために、小学校・中学校・高等学校等の児童生徒の皆さんを対象に、毎年行われています。

今年もたくさんの応募があり、しかも力作ぞろいでした。そのため選考が難しく、審査員も審査に当たり大変苦労しました。応募された皆さん、御協力いただいた先生方に深く感謝します。

これからも、一人でも多くの皆さんが、政治や選挙に興味を持って、応募してくださることを期待しています。

応募状況

今年度は、197校から、2,121点の応募がありました。

学校	年度	26	27	28	29	30
小学校		1,500	1,709	1,523	1,407	1,207
中学校		816	1,088	1,283	886	841
高等学校		36	39	85	50	73
合計		2,352	2,836	2,891	2,343	2,121

審査結果

平成30年10月3日に行われた県の審査会において、小学生9名、中学生7名、高校生7名の計23名の方が優秀賞を受賞されたほか、小学生21名、中学生18名、高校生7名の計46名の方の作品が佳作となりました。

審査員

三浦 潤子（元神奈川県明るい選挙推進協議会監事）

櫻井 伸浩（神奈川県教育局指導部高校教育課高校教育企画室主査兼指導主事）

広滝 陽子（知事室副主幹・広報デザインアドバイザー）

神奈川県選挙管理委員会委員

神奈川県選挙管理委員会書記長・書記長代理

審査講評

審査員代表 三浦 潤子

平成30年度は、政治家だけでなく、省庁にも疑惑の目が向けられました。また、夏の猛暑・地震・台風・大雨など、予想できない被害が続き、復興も進んでいません。

一見平和そうな日本ですが、解決しなければならない問題や課題が山積しています。「明るい選挙」啓発ポスターのねらいは、まさに国民一人ひとりに「国をどうしたいのか」と問いかけていくことです。

国や地方を主導しているのは、政治家や自治体の長ですが、その人たちを選ぶのは私たちなのです。小学生のときから、日本・世界・地球の未来について考え、自然保全や社会全体のつながり、安全・平和に暮らすための知恵を身につけていくことが大切です。

さて、ポスター制作の重点は、①見た瞬間にポスターの内容がわかること、②文字・図柄・色のバランスと構成が印象的であること、③創造的で個性的であることです。すばらしい作品に仕上げるには、アイデアスケッチをくり返し、表現技法にも工夫をこらしましょう。

今年度は、県内の小・中・高校等から2,121点の応募があり、県の本審査で23点を優秀作品として選び、全国審査に出品しました。

その中から、印象に残った作品を紹介します。

- ・ 山田夏実さん(小3) さまざまな年齢・職業の人たちが投票に向かっていますね。いきいきとした表情がいいですね。
- ・ 山崎巧真さん(小5) 人間と動物の共生をテーマにした環境保全のやさしい気持ちが表れています。
- ・ 伊藤幸乃さん(高2) 「準備はいいか」のキャッチコピーに対し、女子高校生のポーズがしっかり描かれ、すっきりしたポスターです。

各入賞者の方にも、それぞれ感想を述べさせていただきます。次回もすばらしい作品が集まることを期待しています。